

【科目名】園芸療法の手順		
【期 別】寮：前期（4～8月）通：後期（9月～2月）	【区 分】必修	【種 別】講義
【単位・コマ数】2単位・15コマ	【時間数】22.5	
【主任教員】○豊田 正博：寮（15）通（10） ○上地 あさひ：通（5）		○は成績評価者
【分担教員】		
【授業のねらい】 園芸療法を行う手順やプログラムを立てるための知識・技術を身につける。		
【担当教員】	【授業予定】	
豊田 正博 寮： 4/27（木）1-5限 5/10（水）1-5限 5/19（金）1-5限 通： 8/19（土）1-5限 9/16（土）1-5限	≪1回目≫ 1. 園芸療法のすすめかた（2コマ） 2. 初期評価と試行園芸（3コマ） ≪2回目≫ 3. 目標設定（1コマ） 4. 評価方法と評価演習（1コマ） 5. 活動の分析とリスク管理（1コマ） 6. プログラム計画（1コマ） 7. 園芸療法実習の進め方（1コマ） ≪3回目≫ 8. プログラム作成演習（3コマ） 9. 初期評価に関する試験（2コマ）	
上地 あさひ 通： 9/30（土）1-5限		
【購入図書】※事前購入のこと		
豊田 正博：	・「国際生活機能分類－国際障害分類改訂版－」（日本語版）中央法規 ・「ICFの理解と活用」（上田 敏、きょうされん、2006年、720円）	
【参考HP】		
・「国際生活機能分類（ICF）とその活用」 http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/intl/02of/04.html ・「国際生活機能分類－国際障害分類改訂版－」（日本語版）の厚生労働省ホームページ掲載について http://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/08/h0805-1.html ・「国際生活機能分類－国際障害分類改訂版－」（日本語版） http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/intl/icf/icf.html#revel2shinshin_1		
【予習課題】		
☆LITALICO（りたりこ）発達ナビ> ICFで検索> ICFとは？ICFの考え方からその活用方法までか、「ICFの理解と活用」を初回授業までによく読み ICFを理解しておくこと。質問があればA4用紙に箇条書きで提出（初回授業時）		
【成績評価の方法】		
出席状況、授業内の課題、試験		
【受講生への希望】		
全寮制向け「対象と理解」（4月16日：岡野先生）、全寮・通学制向け「対象と理解」（8月5日：長倉先生）通学制向け「対象と理解」（9月2日：岡野先生）の授業にてICFについての理解を深めて授業に臨んでください。		